

感染防止衣仕様書

第1 総則

1 目的

この仕様書は、令和7年度に山武郡市広域行政組合消防本部（以下「当組合消防本部」という。）が調達する感染防止衣（上衣・下衣）について必要な事項を定める。

2 条件

この感染防止衣は、十分に品質管理を行った材料及び付属品を用いた仕上がり
が優良な製品であること。

3 材料見本等の提出

売渡人は、材料見本及び生地について、公的機関の検査（試験）成績表を提示し、その写しを速やかに提出して、当組合消防本部担当者の確認を受けること。

別表1 性能一覧表の「人工血液バリア性」「ウイルスバリア性」については入札時から1年以内に発行されたものを提出することとする。

第2 数量

1 上衣 2,000枚

2 下衣 2,000枚

第3 仕様

1 材料

(1) 材質

ア 上衣・下衣 前面部分、腕部分

ポリプロピレン（スパンボンド工法不織布）／ポリエチレン（透湿性フィルム）とする。

イ 上衣・下衣 背面部分

ポリプロピレン（スパンボンド工法不織布／メルトブロー工法不織布）とする。

(2) 用途

血液／体液／ウイルス等からの感染防止を図ること。

(3) 生地

ア バリア性

上衣・下衣前面部分及び腕部分について、生地はポリプロピレン製スパンボンド工法の不織布でポリエチレン透湿性フィルムを挟み込んだ三層構（SF SATX構造）で、一類、二類、三類、四類、五類の感染症に有効であること。屈曲強さ試験（JIS T 8115）において屈曲回数が15,000回を耐えうるものとする。

人工血液バリア性／ウイルスバリア性共に最高レベルのクラス6をクリア

するものとする。各試験項目の数値は別表 1 のとおりとする。

また、中間フィルターには安定的なバリア性能を確保する為、無孔質フィルムを使用すること。上衣・下衣背面部分については、生地各試験項目の数値は別表 2 のとおりとする。

イ 透湿性

感染防止衣着の際のヒートストレス軽減の為、特殊無孔質フィルムの片側表面で水蒸気を吸収し、内部に分散させ反対側の面より放出を行い、透湿性を確保すること。

ウ 柔らかさの保持

中間フィルターを無孔質フィルムにする事により体感的な風合い柔らかさを保つこと。

エ 材料見本等の提出

当組合消防本部担当者に、材料見本及び公的機関の検査（試験）成績書を提出し、材料の詳細な試験結果の確認を行い、承諾を得ること。

2 印刷の対応

現状の印刷及び要望を、当組合消防本部担当者に確認並びに打合せを行い、胸ポケット上部と背面の印刷は当組合消防本部の指定する字体、文字数を不滅インクで印刷をすること。

3 納期

年間 2 回に分けて納品すること。また、各サイズ枚数については、当組合消防本部担当者と協議すること。

(1) 令和 7 年 8 月 29 日（金） 上下 1, 000 組

(2) 令和 8 年 1 月 30 日（金） 上下 1, 000 組

4 基本形状・寸法

基本的な形状は、上衣はジャケットタイプ（別図 1～2）及び下衣（別図 3）とする。

(1) ジャケットタイプ上衣

ア ジャケットタイプ上衣は、長袖（筒袖型）で首元・背中まで覆うものでスタンドカラー面ファスナー付、フロント右ファスナーで止コイルファスナーであること。スタンドカラー前面ファスナー上部にはマジックテープを設けること。スリット付（両脇下の 2 か所）及び左腕部にペン差し、左右脇並びに左胸にポケット付であること。

イ 両脇のポケットの寸法は 200×200mm（±20mm）で右前の脇ポケットにはペン差しを設けること。左腕部ペン差しの寸法は 130×60mm（±10mm）であること。

ウ 左胸部のポケットの寸法は 180×150mm（±10mm）でペン差しを設け、フラップを取り付けること。携帯電話等を収納した際の落下防止のため、フラップのマジックテープは 25×50mm（±5mm）とする。

別図 2 で示す 3 か所に補強縫いを施すこと。

エ 裾は右側と左側にゴムで絞り込みを持たせること。

オ 袖口はゴムで絞り込みを入れ、伸縮性を持たせること。

カ 腕部及び背部と全てのポケット前面の縁には、感染防止着用時の夜間活動の安全の為、イエロー反射テープを取り付けること。

キ 各ポケット等の取り付け位置等の詳細は、別図 1 ～ 2 のとおりとする。

(2) 下衣

ア ズボンの腰部分、裾口部分にはゴムで絞り込みを持たせること。

イ ズボンは、右腰部分に面ファスナー付で、止コイルファスナーであること。

ウ 感染防止着用時の夜間活動の安全の為、イエロー反射テープを取り付けること。

5 縫製

(1) 各部の縫合は、縫い目の飛び、はずれがない優良な物とすること。

(2) 縫い代は、各部分に適した十分な物とすること。

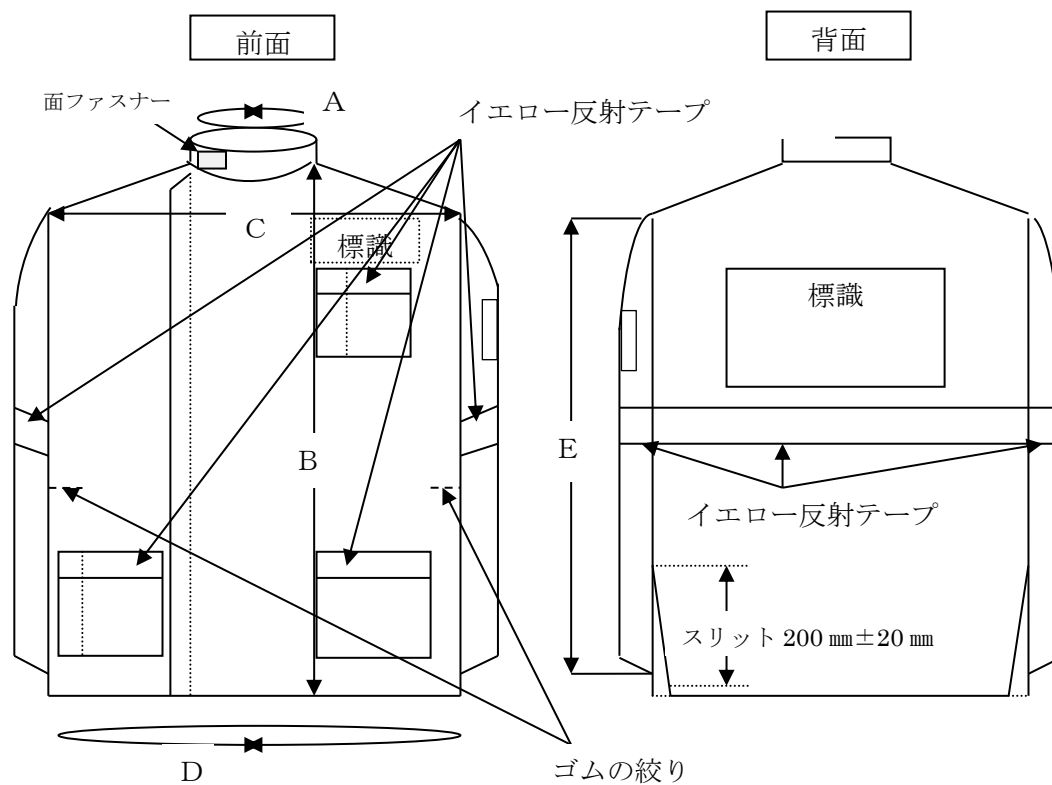
(3) 糸調子は、縫い目が優良で縫い曲がりが目立たない物であること。

(4) 縫い始め、縫い終わりの箇所（本縫い部分）には返し縫を施すこと。

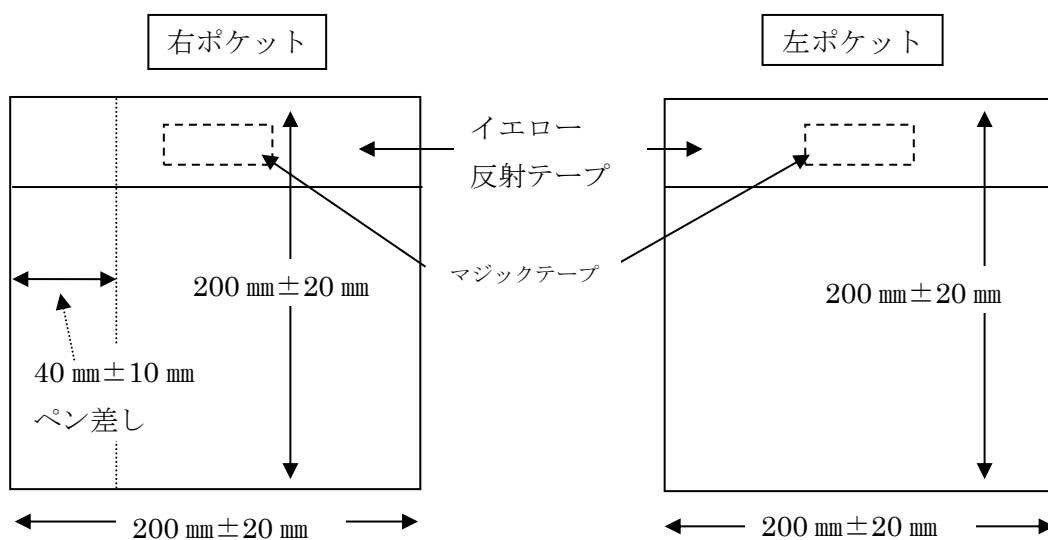
第 4 補則

梱包は 1 着ごとにポリプロピレンの袋に収納すること。

ジャケットタイプ上衣

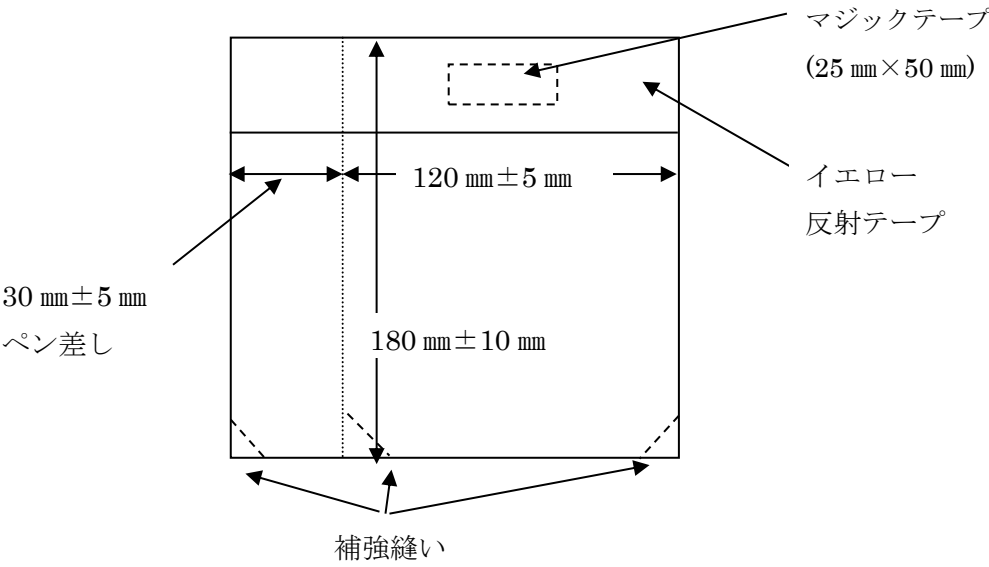


ジャケットタイプ上衣 脇下のポケット

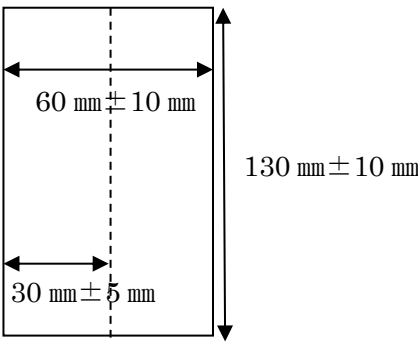


別図 2

ジャケットタイプ上衣 左胸のポケット



ジャケットタイプ 上衣 左腕部のペン差し

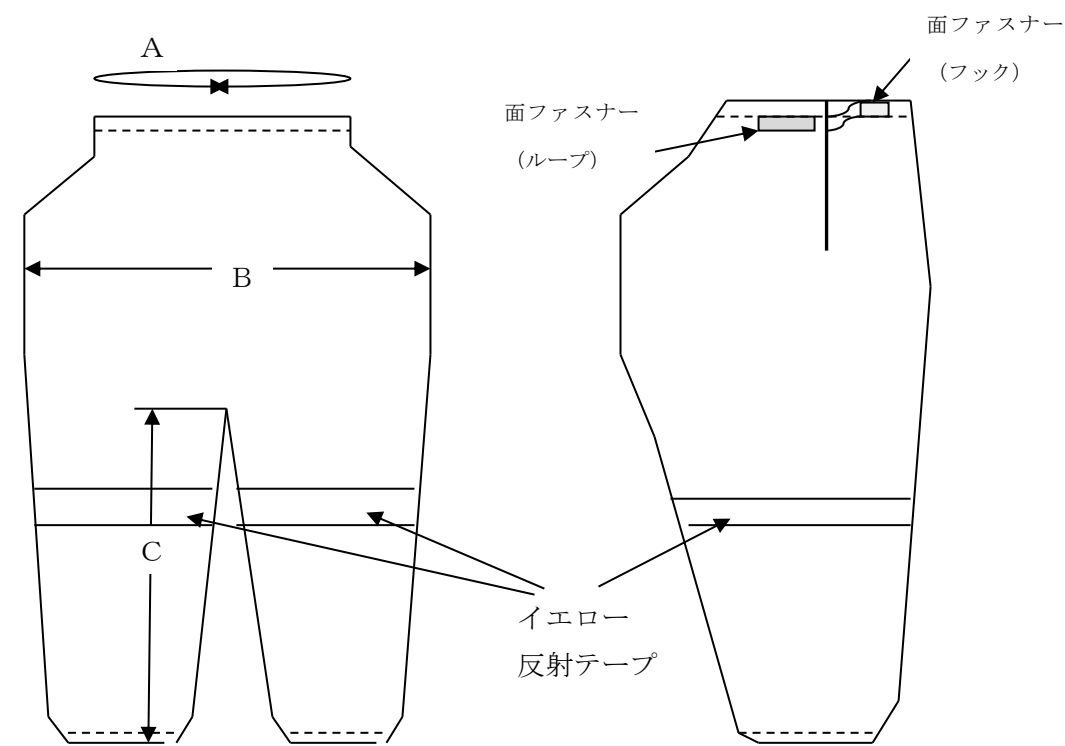


ジャケットタイプ上衣 サイズ別寸法

			サイズ (cm)				
			S	M	L	LL	3L
記号	A	首周り	53	55	57	59	60
	B	着丈	82	83.5	89.5	89.5	92
	C	肩幅	48	49.5	51.5	53	55
	D	胸囲	120	122	128	132	135
	E	袖丈	59	60.5	63	65	66

※記号は別図 1 の位置を示す。

下衣



下衣 サイズ別寸法

			サイズ (cm)				
			S	M	L	LL	3L
記号	A	ウエスト	66～86	72～92	78～98	86～106	94～114
	B	ヒップ	112	118	125.5	135	142
	C	股下	79	82	85	87	89

(注) 記号は別図 3 の位置に示す。

別表 1

性能一覧表（上衣・下衣 前面、腕部分）

試験項目		試験結果	試験方法
単位面積当たりの質量(g/㎡)		60.0 以上	JIS L 1085
厚さ(mm)		0.50 以上	JIS L 1085 A 法 荷重:0.5kPa
引張強さ(N)	たて	129.0 以上	JIS L 1096 カットストリップ法準用 引張速度:30cm/min つかみ間隔:10cm 試験片幅:5cm 試験機:定速伸長形
	よこ	64.0 以上	
伸び率(%)	たて	63.0 以上	
	よこ	62.0 以上	
引裂強さ(N)	たて	57.0 以上	JIS T 8115
	よこ	71.0 以上	
屈曲強さ(回)	たて	15000 を超え	JIS T 8115
	よこ	15000 を超え	
透湿度(g/㎡・h)		500 以上	JIS L 1099 A-1 法
耐水度(mm)		2000 以上	JIS L 1092 A 法
液体浸透圧力(kPa)	30%NAOH	35	JIS T 8115
	アセトン	35	
	メチルアルコール	30	
耐液体浸透性 ・反発性 (10%NAOH)	浸透指数	0.0	JIS T 8115
	反発指数	98 以上	
人工血液バリア性		クラス 6 合格	JIS T 8060 B 法
ウイルスバリア性		クラス 6 合格	JIS T 8061 B 法

※化学防護服タイプ 4,5,6 適合品であること

性能一覧表（上衣・下衣 背面部分）

試験項目		試験結果	試験方法
単位面積当たりの質量(g/m ²)		43.0 以上	JIS L 1085
厚さ(mm)		0.30 以上	JIS L 1085 A 法 一定圧力:0.5kPa
引張強さ(N)	たて	92.0 以上	JIS L 1096A 法 (カットストリップ法)準用 引張速度:30cm/min つかみ間隔:10cm 試験片幅:5cm
	よこ	54.0 以上	
伸び率(%)	たて	43.0 以上	
	よこ	51.0 以上	
引裂強さ(N)	たて	25.0 以上	JIS T 8115 トラペゾイド法 引張速度:10cm/min 試験片幅:7.5cm
	よこ	45.0 以上	
耐水度(mm) {kPa}		500{4.9} 以上	JIS L 1092A 法
PFE(%)		93.0 以上	ASTM F 2299